みんなが主役　豊岡小

大楓

平成２７年３月１６日　№２１
銚子市立豊岡小学校　中西　健

残された日々はあとわずかです。

本日、卒業式予行を行い、卒業式までカウントダウンとなりました。６年生は、残された日々を大切に噛みしめながら過ごしています。

今回の大楓では、本校の卒業式について、お知らせします。本校の卒業式には、いくつかの特色があります。

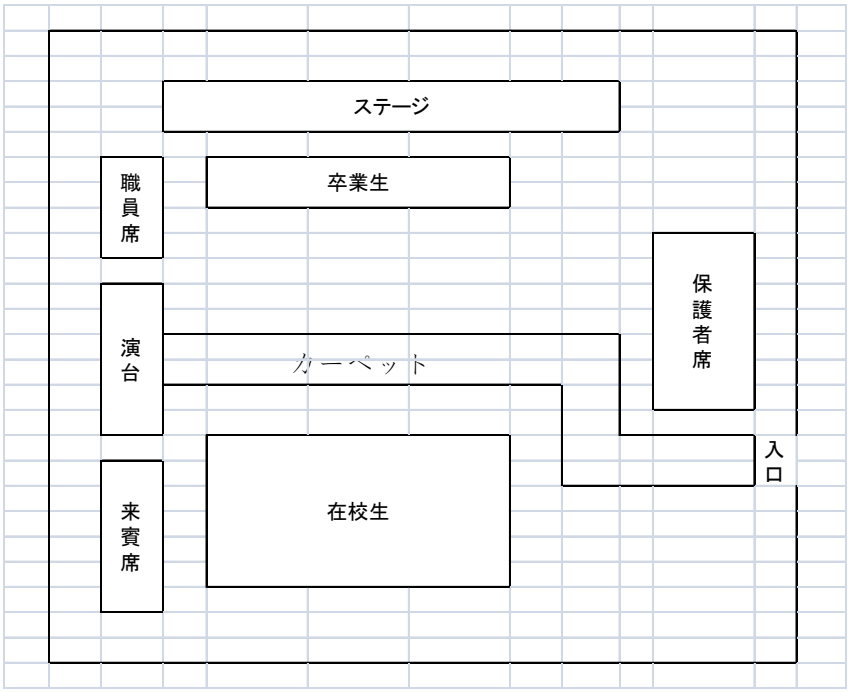
まず、一つ目は、対面形式を取っていることです。対面形式では、卒業生と在校生が向き合うこととなり、お互いの表情がよく見え、一体感が生まれます。今年は、保護者席を卒業生により近い位置としましたので、保護者の方々からもお子さんの姿がよく見えると思います。証書を授与する演台を特設で設置するなど、会場設営に労力がかかりますが、全校で卒業生の姿を見守ることができるこの形が、みんなが一つになって過ごしてきた豊岡小に一番適した形だと考えています。

二つ目は、全校児童が参加するということです。これは、小規模校だからこそ可能となることです。低学年の子どもたちにとって、長時間行儀よくすることはとてもたいへんなことですが、たくさんお世話になった６年生が卒業していく姿を見届けることは、低学年なりに感動があり、とても意味のあることだと考えています。

三つめは、別れの言葉（呼びかけ）の中で、卒業生一人一人が自分で考えた台詞を言う場面を設けているということです。一般的な呼びかけでは、一人一人の担当は一行程度です。本校では、一人一人にできるだけスポットライトを当てたいとの考えから、呼びかけの中で卒業生全員が自分の思いをじっくりと語る場面があります。内容は小学校の思い出や頑張った経験、将来の夢などそれぞれです。卒業生にとっては、緊張することと思いますが、自分の思いをしっかりと表現してくれることを期待しています。この場面は６年生だけで練習し、その内容は、他の学年の子にも、先生方にも秘密です。

先週から本格的に始まった卒業式練習に子どもたちは一生懸命取り組んでくれていますが、その様子を見ていて、毎年、感心することがあります。

それは、子どもたち一人一人、とても前向きに練習に取り組むということです。子どもたちの表情を見ていると、どの子も素晴らしい式にしようと一生懸命です。この子達には卒業式の意味や式に臨む心構えを指導する必要がありません。こちらから語らなくても、子どもたち一人一人が卒業式の意味をしっかりと捉えて臨んでくれています。これは、本当にうれしいことです。６年生にとって豊岡小での６年間がかけがえのない日々であり、在校生にとっても６年生がとても身近な存在であったことの証です。

今年度も、卒業生にとっても、在校生にとっても、保護者の方々にとっても、心に残る最高の卒業式にすることをお約束します。

【平成２６年度　卒業式会場図】